

飯田信用金庫presents

第18回 萩元晴彦ホームタウンコンサート

Vn 中村太地 × Vc 辻本 玲 × Pf 佐藤卓史 スペシャルトリオ

Violin
中村 太地

Daichi Nakamura

Cello
辻本 玲

Rei Tsujimoto

Piano
佐藤 卓史

Takashi Sato

福岡県北九州市出身。2017年ブラームス国際コンクールにて日本人初の優勝を飾る。若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール(最年少ファイナリスト)、ハチャトゥリアン国際音楽コンクール、クライスラー国際コンクールなど数多くの権威ある国際コンクールにて入賞や特別賞を受賞する。モスクワやウィーンの流派を汲み、渡欧後はウィーン国立音楽大学にてミハエル・フリッシュェンシュラガーに師事。九州交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、クラゲンフルトフィルハーモニー管弦楽団、ソフィアフィルハーモニー管弦楽団など国内外のオーケストラと共演、クフモ室内音楽祭(フィンランド)に招かれる等、ヨーロッパと日本を中心に活動中。

2016年度北九州市民文化奨励賞受賞。2018年より株式会社スターフライヤーと音楽家としては初となるスポンサー契約を結び支援を受けている。

東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。その後シベリウス・アカデミー(フィンランド)、ベルン芸術大学(スイス)に留学。第72回日本音楽コンクール第2位(「聴衆賞」受賞)。2007年度青山音楽賞新人賞受賞。2009年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞(日本人最高位)。2011年に東京サントリーホール他5大都市でデビュー・リサイタルを開催。2013年トッパンホールでのリサイタルは読売新聞の演奏会評にて「質実剛健な音、得難い逸材」と絶賛され、同年第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。毎年サイトウ・キネン・オーケストラ、アルカス佐世保のレジデンス・カルテットに参加、チェロ四重奏団「クアルテット・エクスプローチェ」ほか室内楽でも活動。2015年からは日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・チェロ奏者に就任。メタ・ワッツ、オランダ・コール、川元適益、上村昇、山崎伸子、アルト・ノラス、アントニオ・メネセスの各氏に師事。使用楽器は、NPO法人イエロー・エンジェルより1724年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを貸与されている。

公式サイト

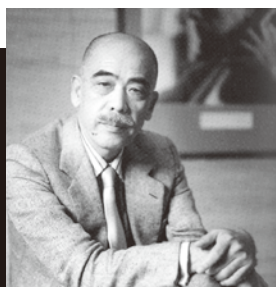
<http://www.rei-tsujimoto.com>

高校在学中の2001年、日本音楽コンクールで優勝。東京藝術大学を首席で卒業後渡欧、ハノーファー音楽演劇大学ならびにウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。その間、2007年シュベルト国際コンクール第1位、2010年エリザベート王妃国際コンクール入賞、2011年カントウ国際コンクール第1位など受賞多数。

指揮者ジョナサン・ノットの東京交響楽団音楽監督就任披露演奏会のソリストに指名され、ブラームスの第1協奏曲を共演したのをはじめ、NHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、ベルギー国立管弦楽団等、内外のオーケストラと多数共演。レコーディングにも積極的に取り組み、日本とヨーロッパで20点を超えるCDを発表している。

2014年よりシュベルトのピアノ曲全曲演奏プロジェクト「佐藤卓史シュベルトツィクルス」を展開中。放送出演も多く、現在はBSジャパン「おんがく交差点」にレギュラー出演。室内楽、作曲編曲など幅広く活躍している。

www.takashi-sato.jp



萩元晴彦 ホームタウン コンサートとは

飯田市馬場町出身のテレビ・音楽プロデューサーであった故萩元晴彦さんの「故郷の飯田に一流のアーティストを招待し、一流の演奏を飯田の皆さんに聴いていただきたい、そして一流の若手演奏家を育てたい」という思いに賛同した企業及び市民が実行委員会を組織し、平成8年から開催しているコンサートです。

萩元さんは平成13年に逝去されましたが、私どもは萩元さんの理念を引き継ぎ、コンサートを続けてまいります。

～ホームタウンコンサートの音色が末長く響きわたり、天国の萩元さんへも届きますように～

実行委員募集

萩元晴彦ホームタウンコンサート実行委員会では実行委員を募集しています。興味をお持ちの方は、飯田文化会館までご連絡ください。